

様式1

整理番号 1

治山事業費用対効果集計表

事業名：森林水環境総合整備
 施行箇所：千尋・加茂助

都道府県名：三重
 (単位:千円)

大区分	中区分		評価額 B (千円)	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	708,888	(1,553,392)
		a-2	53,619	
	流域貯水便益	b-1	336,514	
		b-2	10,305	
	水質浄化便益	c-1	430,872	
		c-2	13,194	
山地保全便益	土砂流出防止便益	d-1	82,040	82,040 + 84,472 + 2,639 = 169,151 > 115,411 適用する
		d-2	84,472	
	土砂崩壊防止便益	e	2,639	
環境保全便益	炭素固定便益	f	0	
	酸素供給便益	g	0	
	気候緩和便益	h	0	
	騒音軽減便益	i	0	
	飛砂軽減便益	j	0	
	風害軽減便益	k	0	
	大気浄化便益	l	0	
	霧害軽減便益	m	0	
	火災防備便益	n	0	
	漁場保全便益	o	0	
	生物多様性の保全便益	p	0	
	保健休養便益	q	0	
	災害防止便益	山地災害防止便益	r-1	115,411
なだれ災害防止便		r-2	0	
潮害軽減便益		r-3	0	
海岸侵食防止便益		r-4	0	
便 益 合 計 (B)			1,722,543	
事業費 (C)			212,592 千円	
費用対効果分析	B ÷ C =		$\frac{1,722,543}{212,592} = 8.10$	

様式1

整理番号 2

治山事業費用対効果集計表

事業名：復旧治山

都道府県名：京都

施行箇所：津灰

(単位:千円)

大区分	中区分		評価額 B (千円)	備考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	1,272	(5,391)
		a-2	2,717	
	流域貯水便益	b-1	196	
		b-2	419	
	水質浄化便益	c-1	251	
		c-2	536	
山地保全便益	土砂流出防止便益	d-1	12,590	12,590 + 24,136 + 3 = 36,729 < 120,306 適用しない
		d-2	24,136	
	土砂崩壊防止便益	e	3	
環境保全便益	炭素固定便益	f	0	
	酸素供給便益	g	0	
	気候緩和便益	h	0	
	騒音軽減便益	i	0	
	飛砂軽減便益	j	0	
	風害軽減便益	k	0	
	大気浄化便益	l	0	
	霧害軽減便益	m	0	
	火災防備便益	n	0	
	漁場保全便益	o	0	
	生物多様性の保全便益	p	0	
	保健休養便益	q	0	
災害防止便益	山地災害防止便益	r-1	120,306	適用 (120,306)
	なだれ災害防止便	r-2	0	
	潮害軽減便益	r-3	0	
	海岸侵食防止便益	r-4	0	
便益合計 (B)			125,697	
事業費 (C)			57,618	千円
費用対効果分析	B ÷ C =		$\frac{125,697}{57,618}$	= 2.18

様式1

整理番号 3

治山事業費用対効果集計表

事業名：環境防災林整備

都道府県名：京都

施行箇所：観喜山

(単位:千円)

大区分	中区分		評価額 B (千円)	備考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	1,507	(8,422)
		a-2	4,593	
	流域貯水便益	b-1	251	
		b-2	767	
	水質浄化便益	c-1	322	
		c-2	982	
山地保全便益	土砂流出防止便益	d-1	17,860	17,860 + 54,441 + 6 = 72,307 > 71,718 適用する
		d-2	54,441	
	土砂崩壊防止便益	e	6	
環境保全便益	炭素固定便益	f	0	
	酸素供給便益	g	0	
	気候緩和便益	h	0	
	騒音軽減便益	i	0	
	飛砂軽減便益	j	0	
	風害軽減便益	k	0	
	大気浄化便益	l	0	
	霧害軽減便益	m	0	
	火災防備便益	n	0	
	漁場保全便益	o	0	
	生物多様性の保全便益	p	0	
	保健休養便益	q	0	
災害防止便益	山地災害防止便益	r-1	71,718	適用しない (71,718)
	なだれ災害防止便	r-2	0	
	潮害軽減便益	r-3	0	
	海岸侵食防止便益	r-4	0	
便益合計 (B)			80,729	
事業費 (C)			24,038	千円
費用対効果分析	B ÷ C =		$\frac{80,729}{24,038}$	= 3.36

様式1

整理番号 4

治山事業費用対効果集計表

事業名：復旧治山
 施行箇所：伯母子岳

都道府県名：奈良
 (単位:千円)

大区分	中区分		評価額 B (千円)	備考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	78	(7,566)
		a-2	4,737	
	流域貯水便益	b-1	19	
		b-2	1,187	
	水質浄化便益	c-1	25	
		c-2	1,520	
山地保全便益	土砂流出防止便益	d-1	88	88 + 5,395 + 0 = 5,483 < 57,705 適用しない
		d-2	5,395	
	土砂崩壊防止便益	e	0	
環境保全便益	炭素固定便益	f	0	
	酸素供給便益	g	0	
	気候緩和便益	h	0	
	騒音軽減便益	i	0	
	飛砂軽減便益	j	0	
	風害軽減便益	k	0	
	大気浄化便益	l	0	
	霧害軽減便益	m	0	
	火災防備便益	n	0	
	漁場保全便益	o	0	
	生物多様性の保全便益	p	0	
	保健休養便益	q	0	
災害防止便益	山地災害防止便益	r-1	57,705	適用 (57,705)
	なだれ災害防止便	r-2	0	
	潮害軽減便益	r-3	0	
	海岸侵食防止便益	r-4	0	
便益合計 (B)			65,271	
事業費 (C)			28,846	千円
費用対効果分析	B ÷ C =		$\frac{65,271}{28,846}$	= 2.26

様式1

整理番号 5

治山事業費用対効果集計表

事業名：復旧治山

都道府県名：兵庫

施行箇所：阿舎利

(単位:千円)

大区分	中区分		評価額 B (千円)	備考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	4,238	(23,156)
		a-2	12,270	
	流域貯水便益	b-1	748	
		b-2	2,167	
	水質浄化便益	c-1	958	
		c-2	2,775	
山地保全便益	土砂流出防止便益	d-1	43,845	43,845 + 126,339 + 9 = 170,193 < 280,184 適用しない
		d-2	126,339	
	土砂崩壊防止便益	e	9	
環境保全便益	炭素固定便益	f	0	
	酸素供給便益	g	0	
	気候緩和便益	h	0	
	騒音軽減便益	i	0	
	飛砂軽減便益	j	0	
	風害軽減便益	k	0	
	大気浄化便益	l	0	
	霧害軽減便益	m	0	
	火災防備便益	n	0	
	漁場保全便益	o	0	
	生物多様性の保全便益	p	0	
	保健休養便益	q	0	
災害防止便益	山地災害防止便益	r-1	280,184	適用 (280,184)
	なだれ災害防止便	r-2	0	
	潮害軽減便益	r-3	0	
	海岸侵食防止便益	r-4	0	
便 益 合 計 (B)			303,340	
事業費 (C)			117,534 千円	
費用対効果分析	B ÷ C =		$\frac{303,340}{117,534} = 2.58$	

様式1

整理番号 6

治山事業費用対効果集計表

事業名：復旧治山

都道府県名：兵庫

施行箇所：鮎屋

(単位:千円)

大区分	中区分		評価額 B (千円)	備考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	247	(62,814)
		a-2	50,887	
	流域貯水便益	b-1	25	
		b-2	5,097	
	水質浄化便益	c-1	32	
		c-2	6,526	
山地保全便益	土砂流出防止便益	d-1	177	177 + 36,433 + 0 = 36,610 < 107,105 適用しない
		d-2	36,433	
	土砂崩壊防止便益	e	0	
環境保全便益	炭素固定便益	f	0	
	酸素供給便益	g	0	
	気候緩和便益	h	0	
	騒音軽減便益	i	0	
	飛砂軽減便益	j	0	
	風害軽減便益	k	0	
	大気浄化便益	l	0	
	霧害軽減便益	m	0	
	火災防備便益	n	0	
	漁場保全便益	o	0	
	生物多様性の保全便益	p	0	
	保健休養便益	q	0	
災害防止便益	山地災害防止便益	r-1	107,105	適用 (107,105)
	なだれ災害防止便	r-2	0	
	潮害軽減便益	r-3	0	
	海岸侵食防止便益	r-4	0	
便益合計 (B)			169,919	
事業費 (C)			81,731	千円
費用対効果分析	$B \div C = \frac{169,919}{81,731} = 2.08$			

様式1

整理番号 7

治山事業費用対効果集計表

事業名：復旧治山

都道府県名：和歌山

施行箇所：公門谷西

(単位:千円)

大区分	中区分		評価額 B (千円)	備考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	202	(29,879)
		a-2	19,352	
	流域貯水便益	b-1	47	
		b-2	4,481	
	水質浄化便益	c-1	60	
		c-2	5,737	
山地保全便益	土砂流出防止便益	d-1	177	177 + 16,916 + 0 = 17,093 < 103,170 適用しない
		d-2	16,916	
	土砂崩壊防止便益	e	0	
環境保全便益	炭素固定便益	f	0	
	酸素供給便益	g	0	
	気候緩和便益	h	0	
	騒音軽減便益	i	0	
	飛砂軽減便益	j	0	
	風害軽減便益	k	0	
	大気浄化便益	l	0	
	霧害軽減便益	m	0	
	火災防備便益	n	0	
	漁場保全便益	o	0	
	生物多様性の保全便益	p	0	
	保健休養便益	q	0	
災害防止便益	山地災害防止便益	r-1	103,170	適用 (103,170)
	なだれ災害防止便	r-2	0	
	潮害軽減便益	r-3	0	
	海岸侵食防止便益	r-4	0	
便益合計 (B)			133,049	
事業費 (C)			38,462	千円
費用対効果分析	$B \div C = \frac{133,049}{38,462} = 3.46$			

様式1

整理番号 8

治山事業費用対効果集計表

事業名：復旧治山
 施行箇所：鷲峰山本谷

都道府県名：鳥取
 (単位:千円)

大区分	中区分		評価額 B (千円)	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	1,251	(8,310)
		a-2	4,034	
	流域貯水便益	b-1	314	
		b-2	1,013	
	水質浄化便益	c-1	402	
		c-2	1,296	
山地保全便益	土砂流出防止便益	d-1	9,553	9,553 + 24,867 + 1 = 34,421 < 174,865 適用しない
		d-2	24,867	
	土砂崩壊防止便益	e	1	
環境保全便益	炭素固定便益	f	0	
	酸素供給便益	g	0	
	気候緩和便益	h	0	
	騒音軽減便益	i	0	
	飛砂軽減便益	j	0	
	風害軽減便益	k	0	
	大気浄化便益	l	0	
	霧害軽減便益	m	0	
	火災防備便益	n	0	
	漁場保全便益	o	0	
	生物多様性の保全便益	p	0	
	保健休養便益	q	0	
災害防止便益	山地災害防止便益	r-1	174,865	適用 (174,865)
	なだれ災害防止便	r-2	0	
	潮害軽減便益	r-3	0	
	海岸侵食防止便益	r-4	0	
便 益 合 計 (B)			183,175	
事業費 (C)			82,849 千円	
費用対効果分析	$B \div C = \frac{183,175}{82,849} = 2.21$			

様式1

整理番号 9

治山事業費用対効果集計表

事業名：特定流域総合治山
 施行箇所：久住

都道府県名：鳥取
 (単位:千円)

大区分	中区分		評価額 B (千円)	備考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	2,136	(7,659)
		a-2	2,925	
	流域貯水便益	b-1	481	
		b-2	658	
	水質浄化便益	c-1	616	
		c-2	843	
山地保全便益	土砂流出防止便益	d-1	25,512	25,512 + 29,714 + 50 = 55,276 < 138,181 適用しない
		d-2	29,714	
	土砂崩壊防止便益	e	50	
環境保全便益	炭素固定便益	f	0	
	酸素供給便益	g	0	
	気候緩和便益	h	0	
	騒音軽減便益	i	0	
	飛砂軽減便益	j	0	
	風害軽減便益	k	0	
	大気浄化便益	l	0	
	霧害軽減便益	m	0	
	火災防備便益	n	0	
	漁場保全便益	o	0	
	生物多様性の保全便益	p	0	
	保健休養便益	q	0	
災害防止便益	山地災害防止便益	r-1	138,181	適用 (138,181)
	なだれ災害防止便	r-2	0	
	潮害軽減便益	r-3	0	
	海岸侵食防止便益	r-4	0	
便益合計 (B)			145,840	
事業費 (C)			77,385 千円	
費用対効果分析	$B \div C = \frac{145,840}{77,385} = 1.88$			

様式1

整理番号 10

治山事業費用対効果集計表

事業名：復旧治山
 施行箇所：神戸布施山

都道府県名：鳥取
 (単位:千円)

大区分	中区分		評価額 B (千円)	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	547	(12,337)
		a-2	7,605	
	流域貯水便益	b-1	123	
		b-2	1,712	
	水質浄化便益	c-1	158	
		c-2	2,192	
山地保全便益	土砂流出防止便益	d-1	4,283	4,283 + 32,864 + 4 = 37,151 < 77,815 適用しない
		d-2	32,864	
	土砂崩壊防止便益	e	4	
環境保全便益	炭素固定便益	f	0	
	酸素供給便益	g	0	
	気候緩和便益	h	0	
	騒音軽減便益	i	0	
	飛砂軽減便益	j	0	
	風害軽減便益	k	0	
	大気浄化便益	l	0	
	霧害軽減便益	m	0	
	火災防備便益	n	0	
	漁場保全便益	o	0	
	生物多様性の保全便益	p	0	
	保健休養便益	q	0	
災害防止便益	山地災害防止便益	r-1	77,815	適用 (77,815)
	なだれ災害防止便	r-2	0	
	潮害軽減便益	r-3	0	
	海岸侵食防止便益	r-4	0	
便 益 合 計 (B)			90,152	
事業費 (C)			41,367 千円	
費用対効果分析	B ÷ C =		$\frac{90,152}{41,367} = 2.18$	

様式1

整理番号 11

治山事業費用対効果集計表

事業名：復旧治山

都道府県名：島根

施行箇所：日平川

(単位:千円)

大区分	中区分		評価額 B (千円)	備考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	72	(1,425)
		a-2	872	
	流域貯水便益	b-1	16	
		b-2	195	
	水質浄化便益	c-1	21	
		c-2	249	
山地保全便益	土砂流出防止便益	d-1	88	88 + 1,075 + 0 = 1,163 < 26,230 適用しない
		d-2	1,075	
	土砂崩壊防止便益	e	0	
環境保全便益	炭素固定便益	f	0	
	酸素供給便益	g	0	
	気候緩和便益	h	0	
	騒音軽減便益	i	0	
	飛砂軽減便益	j	0	
	風害軽減便益	k	0	
	大気浄化便益	l		
	霧害軽減便益	m	0	
	火災防備便益	n	0	
	漁場保全便益	o		
	生物多様性の保全便益	p		
	保健休養便益	q	0	
災害防止便益	山地災害防止便益	r-1	26,230	適用 (26,230)
	なだれ災害防止便	r-2	0	
	潮害軽減便益	r-3	0	
	海岸侵食防止便益	r-4	0	
便 益 合 計 (B)			27,655	
事業費 (C)		14,423 千円		
費用対効果分析	$B \div C = \frac{27,655}{14,423} = 1.92$			

様式1

整理番号 12

治山事業費用対効果集計表

事業名：復旧治山

都道府県名：岡山

施行箇所：兼秀川

(単位:千円)

大区分	中区分		評価額 B (千円)	備考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	2,296	(9,600)
		a-2	4,702	
	流域貯水便益	b-1	374	
		b-2	767	
	水質浄化便益	c-1	479	
		c-2	982	
山地保全便益	土砂流出防止便益	d-1	26,790	26,790 + 54,875 + 1 = 81,666 > 61,203 適用する
		d-2	54,875	
	土砂崩壊防止便益	e	1	
環境保全便益	炭素固定便益	f	0	
	酸素供給便益	g	0	
	気候緩和便益	h	0	
	騒音軽減便益	i	0	
	飛砂軽減便益	j	0	
	風害軽減便益	k	0	
	大気浄化便益	l	0	
	霧害軽減便益	m	0	
	火災防備便益	n	0	
	漁場保全便益	o	0	
	生物多様性の保全便益	p	0	
	保健休養便益	q	0	
災害防止便益	山地災害防止便益	r-1	61,203	適用しない (61,203)
	なだれ災害防止便	r-2	0	
	潮害軽減便益	r-3	0	
	海岸侵食防止便益	r-4	0	
便益合計 (B)			91,266	
事業費 (C)			40,865	千円
費用対効果分析	B ÷ C =		$\frac{91,266}{40,865}$	= 2.23

様式1

整理番号 13

治山事業費用対効果集計表

事業名：復旧治山

都道府県名：岡山

施行箇所：釘貫川

(単位:千円)

大区分	中区分		評価額 B (千円)	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	789	(8,651)
		a-2	4,923	
	流域貯水便益	b-1	178	
		b-2	1,111	
	水質浄化便益	c-1	228	
		c-2	1,422	
山地保全便益	土砂流出防止便益	d-1	7,321	7,321 + 10,995 + 0 = 18,316 < 119,226 適用しない
		d-2	10,995	
	土砂崩壊防止便益	e	0	
環境保全便益	炭素固定便益	f	0	
	酸素供給便益	g	0	
	気候緩和便益	h	0	
	騒音軽減便益	i	0	
	飛砂軽減便益	j	0	
	風害軽減便益	k	0	
	大気浄化便益	l	0	
	霧害軽減便益	m	0	
	火災防備便益	n	0	
	漁場保全便益	o	0	
	生物多様性の保全便益	p	0	
	保健休養便益	q	0	
災害防止便益	山地災害防止便益	r-1	119,226	適用 (119,226)
	なだれ災害防止便	r-2	0	
	潮害軽減便益	r-3	0	
	海岸侵食防止便益	r-4	0	
便 益 合 計 (B)			127,877	
事業費 (C)		41,223 千円		
費用対効果分析	$B \div C = \frac{127,877}{41,223} = 3.10$			

様式1

整理番号 14

治山事業費用対効果集計表

事業名：復旧治山

都道府県名：岡山

施行箇所：青柳

(単位:千円)

大区分	中区分		評価額 B (千円)	備考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	542	(7,184)
		a-2	5,156	
	流域貯水便益	b-1	62	
		b-2	589	
	水質浄化便益	c-1	80	
		c-2	755	
山地保全便益	土砂流出防止便益	d-1	2,856	2,856 + 10,466 + 0 = 13,322 < 71,138
		d-2	10,466	
	土砂崩壊防止便益	e	0	適用しない
環境保全便益	炭素固定便益	f	0	
	酸素供給便益	g	0	
	気候緩和便益	h	0	
	騒音軽減便益	i	0	
	飛砂軽減便益	j	0	
	風害軽減便益	k	0	
	大気浄化便益	l	0	
	霧害軽減便益	m	0	
	火災防備便益	n	0	
	漁場保全便益	o	0	
	生物多様性の保全便益	p	0	
	保健休養便益	q	0	
災害防止便益	山地災害防止便益	r-1	71,138	適用 (71,138)
	なだれ災害防止便	r-2	0	
	潮害軽減便益	r-3	0	
	海岸侵食防止便益	r-4	0	
便益合計 (B)			78,322	
事業費 (C)			18,029 千円	
費用対効果分析	B ÷ C =		$\frac{78,322}{18,029}$	= 4.34

様式1

整理番号 15

治山事業費用対効果集計表

事業名：予防治山

都道府県名：岡山

施行箇所：城山

(単位:千円)

大区分	中区分		評価額 B (千円)	備考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	37	(746)
		a-2	522	
	流域貯水便益	b-1	5	
		b-2	77	
	水質浄化便益	c-1	7	
		c-2	98	
山地保全便益	土砂流出防止便益	d-1	446	446 + 6,290 + 0 = 6,736 < 16,692
		d-2	6,290	
	土砂崩壊防止便益	e	0	適用しない
環境保全便益	炭素固定便益	f	0	
	酸素供給便益	g	0	
	気候緩和便益	h	0	
	騒音軽減便益	i	0	
	飛砂軽減便益	j	0	
	風害軽減便益	k	0	
	大気浄化便益	l		
	霧害軽減便益	m	0	
	火災防備便益	n	0	
	漁場保全便益	o		
	生物多様性の保全便益	p		
	保健休養便益	q	0	
災害防止便益	山地災害防止便益	r-1	16,692	適用 (16,692)
	なだれ災害防止便	r-2	0	
	潮害軽減便益	r-3	0	
	海岸侵食防止便益	r-4	0	
便益合計 (B)			17,438	
事業費 (C)			9,615	千円
費用対効果分析	$B \div C = \frac{17,438}{9,615} = 1.81$			

様式1

整理番号 16

治山事業費用対効果集計表

事業名：復旧治山
 施行箇所：平原山東

都道府県名：広島
 (単位:千円)

大区分	中区分		評価額 B (千円)	備考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	94	(2,770)
		a-2	2,013	
	流域貯水便益	b-1	13	
		b-2	278	
	水質浄化便益	c-1	17	
		c-2	355	
山地保全便益	土砂流出防止便益	d-1	88	88 + 1,891 + 0 = 1,979 < 92,959 適用しない
		d-2	1,891	
	土砂崩壊防止便益	e	0	
環境保全便益	炭素固定便益	f	0	
	酸素供給便益	g	0	
	気候緩和便益	h	0	
	騒音軽減便益	i	0	
	飛砂軽減便益	j	0	
	風害軽減便益	k	0	
	大気浄化便益	l	0	
	霧害軽減便益	m	0	
	火災防備便益	n	0	
	漁場保全便益	o	0	
	生物多様性の保全便益	p	0	
	保健休養便益	q	0	
災害防止便益	山地災害防止便益	r-1	92,959	適用 (92,959)
	なだれ災害防止便	r-2	0	
	潮害軽減便益	r-3	0	
	海岸侵食防止便益	r-4	0	
便益合計 (B)			95,729	
事業費 (C)			17,308	千円
費用対効果分析	B ÷ C =		$\frac{95,729}{17,308}$	= 5.53

様式1

整理番号 17

治山事業費用対効果集計表

事業名：復旧治山

都道府県名：広島

施行箇所：笹ヶ丸山51林班

(単位:千円)

大区分	中区分		評価額 B (千円)	備考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	1,006	(15,878)
		a-2	11,657	
	流域貯水便益	b-1	112	
		b-2	1,298	
	水質浄化便益	c-1	143	
		c-2	1,662	
山地保全便益	土砂流出防止便益	d-1	8,483	8,483 + 98,254 + 0 = 106,737 > 51,148 適用する
		d-2	98,254	
	土砂崩壊防止便益	e	0	
環境保全便益	炭素固定便益	f	0	
	酸素供給便益	g	0	
	気候緩和便益	h	0	
	騒音軽減便益	i	0	
	飛砂軽減便益	j	0	
	風害軽減便益	k	0	
	大気浄化便益	l	0	
	霧害軽減便益	m	0	
	火災防備便益	n	0	
	漁場保全便益	o	0	
	生物多様性の保全便益	p	0	
	保健休養便益	q	0	
災害防止便益	山地災害防止便益	r-1	51,148	適用しない (51,148)
	なだれ災害防止便	r-2	0	
	潮害軽減便益	r-3	0	
	海岸侵食防止便益	r-4	0	
便 益 合 計 (B)			122,615	
事 業 費 (C)			28,846	千円
費用対効果分析	B ÷ C =		$\frac{122,615}{28,846} = 4.25$	

様式1

整理番号 18

治山事業費用対効果集計表

事業名：復旧治山
 施行箇所：羅漢溪谷上流

都道府県名：広島
 (単位:千円)

大区分	中区分		評価額 B (千円)	備考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	112	(2,481)
		a-2	1,738	
	流域貯水便益	b-1	17	
		b-2	260	
	水質浄化便益	c-1	21	
		c-2	333	
山地保全便益	土砂流出防止便益	d-1	88	88 + 1,376 + 0 = 1,464 < 23,257 適用しない
		d-2	1,376	
	土砂崩壊防止便益	e	0	
環境保全便益	炭素固定便益	f	0	
	酸素供給便益	g	0	
	気候緩和便益	h	0	
	騒音軽減便益	i	0	
	飛砂軽減便益	j	0	
	風害軽減便益	k	0	
	大気浄化便益	l	0	
	霧害軽減便益	m	0	
	火災防備便益	n	0	
	漁場保全便益	o	0	
	生物多様性の保全便益	p	0	
	保健休養便益	q	0	
災害防止便益	山地災害防止便益	r-1	23,257	適用 (23,257)
	なだれ災害防止便	r-2	0	
	潮害軽減便益	r-3	0	
	海岸侵食防止便益	r-4	0	
便益合計 (B)			25,738	
事業費 (C)			10,577	千円
費用対効果分析	B ÷ C =		$\frac{25,738}{10,577}$	= 2.43